

參考資料

林業成長化構想技術者育成研修講師リスト(外部講師、林野庁講師)

令和2年度

中央研修

講義・演習名	講師	所属
【講義】林業ICT化の意義と手法	寺岡行雄	鹿児島大学農学部
新技術の機能、効果、仕組み	-	アジア航測(株)
	-	(株)アドイン研究所
	-	イワフジ工業(株)
	-	(株)Woodinfo
	-	(株)小松製作所
	-	(株)ジツタ
	-	(株)筑水キャニコム
	-	(株)パスコ
	-	(株)ビジョンテック
	-	日立建機日本(株)
	-	(株)フォレストシー
	-	(株)マゼックス
	-	全国森林組合連合会
【講義】森林の取扱いの方向性	中村昌有吉	林野庁研究指導課
【講義】森づくりの理念	佐藤 保	(研)森林総合研究所
【講義】ICT林業の実際	狩谷健一	金山町森林組合
【演習】ICT機器等による森林現況把握手法演習	松本 武	東京農工大学農学研究院
【講義】路網計画の考え方	春日 智	林野庁整備課
【講義】路網と作業システム	小原文悟	一般社団法人全国LVL協会
【講義】ICT等による路網設計の手法	白澤紘明	(研)森林総合研究所
【演習】ICT等による路網設計最適化手法演習	白澤紘明	(研)森林総合研究所
	田上 誠	住友林業(株)資源環境本部山林部
【講義】林業成長産業化地域の取組	池田将信	糸島市役所
【講義】循環的な木材生産(安定供給に向けた取組)	鈴木信哉	ノースジャパン素材流通協同組合
【演習】地域課題の整理～林業成長産業化に向けて～	中村昌有吉	林野庁研究指導課

北海道・東北ブロック

講義・演習名	講師等	所属	事前 打合	研修
実習地および演習手順の説明	小原文悟	一般社団法人全国LVL協会	○	○
	中嶋 一	東北森林管理局森林整備部	○	○
【演習】森林資源把握・路網配置計画演習	小原文悟	一般社団法人全国LVL協会	○	○
	中嶋 一	東北森林管理局森林整備部	○	○
	八木 修	東北森林管理局森林技術・支援センター	○	○
	鈴木春美	東北森林管理局計画保全部	○	○
	早川 慶	東北森林管理局森林整備部	○	○
	高木善隆	東北森林管理局森林整備部	○	○
	東海林 見	東北森林管理局森林整備部	○	○
	木村秀樹	東北森林管理局森林整備部	○	○
	横山宏幸	北海道森林管理局森林整備部	○	○
【講義】地域特性に応じた森づくりの構想	太田敬之	(研)森林総合研究所東北支所	○	○
【現地実習】森づくり検討	太田敬之	(研)森林総合研究所東北支所	○	○
	中嶋 一	東北森林管理局森林整備部	○	○
	八木 修	東北森林管理局森林技術・支援センター	○	○
	鈴木春美	東北森林管理局計画保全部	○	○
	早川 慶	東北森林管理局森林整備部	○	○
	高木善隆	東北森林管理局森林整備部	○	○
	東海林 見	東北森林管理局森林整備部	○	○
	木村秀樹	東北森林管理局森林整備部	○	○
	横山宏幸	北海道森林管理局森林整備部	○	○
【現地実習】森林現況の把握・路網配置の調査	小原文悟	一般社団法人全国LVL協会	○	○
	中嶋 一	東北森林管理局森林整備部	○	○
	八木 修	東北森林管理局森林技術・支援センター	○	○
	鈴木春美	東北森林管理局計画保全部	○	○
	早川 慶	東北森林管理局森林整備部	○	○
	高木善隆	東北森林管理局森林整備部	○	○
	東海林 見	東北森林管理局森林整備部	○	○
	木村秀樹	東北森林管理局森林整備部	○	○
	横山宏幸	北海道森林管理局森林整備部	○	○
【演習】林業成長産業化構想演習	小原文悟	一般社団法人全国LVL協会	○	○
	西山靖之	林野庁研究指導課	○	○
	鈴木春美	東北森林管理局計画保全部	○	○
	早川 慶	東北森林管理局森林整備部	○	○
	高木善隆	東北森林管理局森林整備部	○	○
	東海林 見	東北森林管理局森林整備部	○	○
	遠藤周作	東北森林管理局森林整備部	○	○
	横山宏幸	北海道森林管理局森林整備部	○	○
【演習】林業成長産業化構想演習 (発表・ディスカッション、講評)	小原文悟	一般社団法人全国LVL協会	○	○
	中村昌有吉	林野庁研究指導課	○	○
	東海林 見	東北森林管理局森林整備部	○	○
	中嶋 一	東北森林管理局森林整備部	○	○
	八木 修	東北森林管理局森林技術・支援センター	○	○

関東ブロック

講義・演習名	講師等	所属	事前 打合	研修
実習地及び演習手順の説明	西山靖之	林野庁研究指導課	○	○
	番場 誠	関東森林管理局森林整備部	○	○
【演習】森林資源把握・路網配置計画演習	小原文悟	一般社団法人全国LVL協会	○	○

講義・演習名	講師等	所属	事前 打合	研修
【講義】地域特性に応じた森づくり構想	荒木真岳	(研)森林総合研究所	○	○
【現地実習】森づくり検討	番場 誠	関東森林管理局森林整備部	○	○
	荒木真岳	(研)森林総合研究所	○	○
【現地実習】森林資源把握・路網整備の調査	小原文悟	一般社団法人全国LVL協会	○	○
	番場 誠	関東森林管理局森林整備部	○	○
【演習】林業成長産業化構想演習	小原文悟	一般社団法人全国LVL協会	○	○
	高橋雅博	渋川広域森林組合		○
【演習】林業成長産業化構想演習 (発表・ディスカッション、講評)	小原文悟	一般社団法人全国LVL協会	○	○
	中村昌有吉	林野庁研究指導課	○	○

中部ブロック

講義・演習名	講師等	所属	事前 打合	研修
実習地及び演習手順の説明	森 輝雄	林野庁研究指導課	○	○
	曾我義孝	中部森林管理局森林技術・支援センター	○	○
	安江清文	中部森林管理局森林技術・支援センター	○	○
【演習】森林資源把握・路網配置計画演習	中村昌有吉	林野庁研究指導課	○	○
【講義】地域特性に応じた森づくりの構想	横井秀一	岐阜県立森林文化アカデミー (*横井講師の講義は動画放映)		○
【現地実習】森づくり検討	横井秀一	岐阜県立森林文化アカデミー	○	○
	立澤和実	中部森林管理局計画課	○	○
	井上元晴	中部森林管理局技術普及課	○	○
	曾我義孝	中部森林管理局森林技術・支援センター	○	○
	筒井雅敏	中部森林管理局森林技術・支援センター	○	○
	安江清文	中部森林管理局森林技術・支援センター	○	○
	目崎拓海	中部森林管理局森林技術・支援センター	○	○
【現地実習】森林現況の把握・路網配置の調査	中村昌有吉	林野庁研究指導課	○	○
	森 輝雄	林野庁研究指導課	○	○
	立澤和実	中部森林管理局計画課	○	○
	井上元晴	中部森林管理局技術普及課	○	○
	曾我義孝	中部森林管理局森林技術・支援センター	○	○
	筒井雅敏	中部森林管理局森林技術・支援センター	○	○
	安江清文	中部森林管理局森林技術・支援センター	○	○
【演習】林業成長産業化構想演習	目崎拓海	中部森林管理局森林技術・支援センター	○	○
	戸根伸剛	付知土建株式会社		○
	中村昌有吉	林野庁研究指導課	○	○
	森 輝雄	林野庁研究指導課	○	○
	立澤和実	中部森林管理局計画課	○	○
	井上元晴	中部森林管理局技術普及課	○	○
	曾我義孝	中部森林管理局森林技術・支援センター	○	○
	筒井雅敏	中部森林管理局森林技術・支援センター	○	○
	安江清文	中部森林管理局森林技術・支援センター	○	○
【演習】林業成長産業化構想演習 (発表・ディスカッション、講評)	目崎拓海	中部森林管理局森林技術・支援センター	○	○
	中村昌有吉	林野庁研究指導課	○	○
	森 輝雄	林野庁研究指導課	○	○
	立澤和実	中部森林管理局計画課	○	○
	井上元晴	中部森林管理局技術普及課	○	○
	曾我義孝	中部森林管理局森林技術・支援センター	○	○
筒井雅敏	中部森林管理局森林技術・支援センター	○	○	

講義・演習名	講師等	所属	事前 打合	研修
【演習】林業成長産業化構想演習 (発表・ディスカッション、講評)	安江清文	中部森林管理局森林技術・支援センター	○	○
	目崎拓海	中部森林管理局森林技術・支援センター	○	○

近畿中国ブロック

講義・演習名	講師等	所属	事前 打合	研修
実習地及び演習手順の説明	中村昌有吉	林野庁研究指導課	○	○
	坪倉 真	近畿中国森林管理局森林・技術支援センター	○	○
【演習】森林資源把握・路網配置計画演習	中村昌有吉	林野庁研究指導課	○	○
	草深和博	近畿中国森林管理局技術普及課	○	○
	鳥谷和彦	近畿中国森林管理局技術普及課	○	○
	篠原庄次	近畿中国森林管理局森林・技術支援センター	○	○
	窪田 武	近畿中国森林管理局森林・技術支援センター	○	○
	坪倉 真	近畿中国森林管理局森林・技術支援センター	○	○
【講義】地域特性に応じた森づくりの構想	奥田史郎	(研)森林総合研究所		○
【現地実習】森づくり検討	奥田史郎	(研)森林総合研究所		○
	草深和博	近畿中国森林管理局技術普及課	○	○
	鳥谷和彦	近畿中国森林管理局技術普及課	○	○
	篠原庄次	近畿中国森林管理局森林・技術支援センター	○	○
	窪田 武	近畿中国森林管理局森林・技術支援センター	○	○
	坪倉 真	近畿中国森林管理局森林・技術支援センター	○	○
【現地実習】森林現況の把握・路網配置の調査	中村昌有吉	林野庁研究指導課	○	○
	草深和博	近畿中国森林管理局技術普及課	○	○
	鳥谷和彦	近畿中国森林管理局技術普及課	○	○
	篠原庄次	近畿中国森林管理局森林・技術支援センター	○	○
	窪田 武	近畿中国森林管理局森林・技術支援センター	○	○
【演習】林業成長産業化構想演習	坪倉 真	近畿中国森林管理局森林・技術支援センター	○	○
	中村昌有吉	林野庁研究指導課	○	○
	森 輝雄	林野庁研究指導課	○	○
	草深和博	近畿中国森林管理局技術普及課	○	○
	鳥谷和彦	近畿中国森林管理局技術普及課	○	○
	篠原庄次	近畿中国森林管理局森林・技術支援センター	○	○
	窪田 武	近畿中国森林管理局森林・技術支援センター	○	○
【演習】林業成長産業化構想演習 (発表・ディスカッション、講評)	坪倉 真	近畿中国森林管理局森林・技術支援センター	○	○
	中村昌有吉	林野庁研究指導課	○	○
	草深和博	近畿中国森林管理局技術普及課	○	○
	篠原庄次	近畿中国森林管理局森林・技術支援センター	○	○

四国ブロック

講義・演習名	講師等	所属	事前 打合	研修
実習地及び演習手順の説明	森 輝雄	林野庁研究指導課	○	○
	栄田和昭	四国森林管理局森林整備部資源活用課	○	○
	江入力男	四国森林管理局森林技術・支援センター	○	○
【演習】森林資源把握・路網配置計画演習	小原文悟	一般社団法人全国LVL協会	○	○
	吉良 康	四国森林管理局森林整備部資源活用課	○	○
	栄田和昭	四国森林管理局森林整備部資源活用課	○	○
	清岡英章	四国森林管理局森林整備部森林整備課	○	○
	増原俊光	四国森林管理局計画保全部計画課	○	○

講義・演習名	講師等	所属	事前 打合	研修
【演習】森林資源把握・路網配置計画演習	内藤晴敬	四国森林管理局森林整備部技術普及課	○	○
	鷹野孝司	四国森林管理局森林技術・支援センター	○	○
	江入力男	四国森林管理局森林技術・支援センター	○	○
	渡邊由一	四国森林管理局森林技術・支援センター	○	○
【講義】地域特性に応じた森づくりの構想	大谷達也	(研)森林総合研究所四国支所		○
【現地実習】森づくり検討	大谷達也	(研)森林総合研究所四国支所		○
	栄田和昭	四国森林管理局森林整備部資源活用課	○	○
	清岡英章	四国森林管理局森林整備部森林整備課	○	○
	増原俊光	四国森林管理局計画保全部計画課	○	○
	内藤晴敬	四国森林管理局森林整備部技術普及課	○	○
	鷹野孝司	四国森林管理局森林技術・支援センター	○	○
	江入力男	四国森林管理局森林技術・支援センター	○	○
	渡邊由一	四国森林管理局森林技術・支援センター	○	○
【現地実習】森林現況の把握・路網配置の調査	小原文悟	一般社団法人全国LVL協会	○	○
	栄田和昭	四国森林管理局森林整備部資源活用課	○	○
	清岡英章	四国森林管理局森林整備部森林整備課	○	○
	増原俊光	四国森林管理局計画保全部計画課	○	○
	内藤晴敬	四国森林管理局森林整備部技術普及課	○	○
	鷹野孝司	四国森林管理局森林技術・支援センター	○	○
	江入力男	四国森林管理局森林技術・支援センター	○	○
	渡邊由一	四国森林管理局森林技術・支援センター	○	○
【演習】林業成長産業化構想演習	小原文悟	一般社団法人全国LVL協会	○	○
	森 輝雄	林野庁研究指導課	○	○
	高野一隆	日本森林林業振興会高知支部森林調査部		○
	吉良 康	四国森林管理局森林整備部資源活用課	○	○
	栄田和昭	四国森林管理局森林整備部資源活用課	○	○
	清岡英章	四国森林管理局森林整備部森林整備課	○	○
	増原俊光	四国森林管理局計画保全部計画課	○	○
	鷹野孝司	四国森林管理局森林技術・支援センター	○	○
	江入力男	四国森林管理局森林技術・支援センター	○	○
	渡邊由一	四国森林管理局森林技術・支援センター	○	○
【演習】林業成長産業化構想演習 (発表・ディスカッション、講評)	小原文悟	一般社団法人全国LVL協会	○	○
	森谷克彦	林野庁研究指導課		○
	中村昌有吉	林野庁研究指導課	○	○
	森 輝雄	林野庁研究指導課	○	○
	吉良 康	四国森林管理局森林整備部資源活用課	○	○
	栄田和昭	四国森林管理局森林整備部資源活用課	○	○
	清岡英章	四国森林管理局森林整備部森林整備課	○	○
	増原俊光	四国森林管理局計画保全部計画課	○	○
	内藤晴敬	四国森林管理局森林整備部技術普及課	○	○
	鷹野孝司	四国森林管理局森林技術・支援センター	○	○
	江入力男	四国森林管理局森林技術・支援センター	○	○
	渡邊由一	四国森林管理局森林技術・支援センター	○	○

九州ブロック

講義・演習名	講師等	所属	事前 打合	研修
実習地及び演習手順の説明	小原文吾	一般社団法人全国LVL協会	○	○
	西山靖之	林野庁研究指導課	○	○
	釜 稔	九州森林管理局森林技術・支援センター	○	○
【演習】森林資源把握・路網配置計画演習	小原文悟	一般社団法人全国LVL協会	○	○
	林 視	九州森林管理局		○
	古島勝美	九州森林管理局計画課	○	○
	平生陽介	九州森林管理局計画課	○	○
	下崎哲也	九州森林管理局計画課	○	○
	藤原昭博	九州森林管理局計画課		○
	野口安男	九州森林管理局森林整備課	○	
	岩下哲博	九州森林管理局技術普及課	○	○
	山村晃弘	九州森林管理局森林整備課		○
	後藤善史	九州森林管理局資源活用課		○
	福山拓也	九州森林管理局技術普及課	○	○
	濱田辰広	九州森林管理局森林技術・支援センター	○	○
	中川裕司	九州森林管理局技術普及課	○	○
	白濱正明	九州森林管理局技術普及課	○	○
	井野常雄	九州森林管理局技術普及課	○	○
	古澤寿光	九州森林管理局技術普及課	○	○
釜 稔	九州森林管理局森林技術・支援センター	○	○	
【講義】地域特性に応じた森づくりの構想	山川 博美	森林総合研究所 九州支所	○	○
【現地実習】森づくり検討	山川 博美	森林総合研究所 九州支所	○	○
	古島勝美	九州森林管理局計画課	○	○
	平生陽介	九州森林管理局計画課	○	○
	下崎哲也	九州森林管理局計画課	○	○
	藤原昭博	九州森林管理局計画課		○
	岩下哲博	九州森林管理局技術普及課	○	○
	後藤善史	九州森林管理局資源活用課		○
	福山拓也	九州森林管理局技術普及課	○	○
	濱田辰広	九州森林管理局森林技術・支援センター	○	○
	中川裕司	九州森林管理局技術普及課	○	○
	白濱正明	九州森林管理局技術普及課	○	○
	井野常雄	九州森林管理局技術普及課	○	○
	古澤寿光	九州森林管理局技術普及課	○	○
	釜 稔	九州森林管理局森林技術・支援センター	○	○
【演習】森林現況の把握・路網配置の調査	小原文悟	一般社団法人全国LVL協会	○	○
	野口安男	九州森林管理局森林整備課	○	
	岩下哲博	九州森林管理局技術普及課	○	○
	山村晃弘	九州森林管理局森林整備課		○
	後藤善史	九州森林管理局資源活用課		○
	福山拓也	九州森林管理局技術普及課	○	○
	濱田辰広	九州森林管理局森林技術・支援センター	○	○
	中川裕司	九州森林管理局技術普及課	○	○
	白濱正明	九州森林管理局技術普及課	○	○
	井野常雄	九州森林管理局技術普及課	○	○
	古澤寿光	九州森林管理局技術普及課	○	○
釜 稔	九州森林管理局森林技術・支援センター	○	○	

講義・演習名	講師等	所属	事前 打合	研修
【演習】林業成長産業化構想演習	小原文悟	一般社団法人全国LVL協会	○	○
	西山靖之	林野庁研究指導課	○	○
	岩下信正	熊本県森林整備課		○
	野口安男	九州森林管理局森林整備課	○	
	岩下哲博	九州森林管理局技術普及課	○	○
	山村晃弘	九州森林管理局森林整備課		○
	後藤善史	九州森林管理局資源活用課		○
	福山拓也	九州森林管理局技術普及課	○	○
	濱田辰広	九州森林管理局森林技術・支援センター	○	○
	中川裕司	九州森林管理局技術普及課	○	○
	白濱正明	九州森林管理局技術普及課	○	○
	井野常雄	九州森林管理局技術普及課	○	○
	古澤寿光	九州森林管理局技術普及課	○	○
	釜 稔	九州森林管理局森林技術・支援センター	○	○
【演習】林業成長産業化構想演習 (発表・ディスカッション、講評)	小原文悟	一般社団法人全国LVL協会	○	○
	森谷克彦	林野庁研究指導課		○
	中村昌有吉	林野庁研究指導課	○	○
	西山靖之	林野庁研究指導課	○	○
	久保芳文	九州森林管理局		○
	林 視	九州森林管理局	○	
	古島勝美	九州森林管理局計画課	○	○
	下崎哲也	九州森林管理局計画課	○	○
	野口安男	九州森林管理局森林整備課	○	
	岩下哲博	九州森林管理局技術普及課	○	○
	山村晃弘	九州森林管理局森林整備課		○
	後藤善史	九州森林管理局資源活用課		○
	福山拓也	九州森林管理局技術普及課	○	○
	濱田辰広	九州森林管理局森林技術・支援センター	○	○
	中川裕司	九州森林管理局技術普及課	○	○
	白濱正明	九州森林管理局技術普及課	○	○
	井野常雄	九州森林管理局技術普及課	○	○
古澤寿光	九州森林管理局技術普及課	○	○	
釜 稔	九州森林管理局森林技術・支援センター	○	○	

林業成長化構想技術者育成研修修了者名簿

令和2年度

北海道・東北ブロック

※所属は修了日現在

区分	都道府県	名前	所属	修了者番号	中央参加年度
都道府県職員	北海道	尾崎 浩司	檜山振興局 森林室	002	R2
都道府県職員	北海道	西久保 圭祐	オホーツク総合振興局 産業振興部 林務課	001	R2
都道府県職員	宮城県	豊川 高弘	大河原地方振興事務所 林業振興部	003	R2
国有林職員	北海道	二階堂 辰也	北海道森林管理局 留萌北部森林管理署	005	R2
国有林職員	北海道	柳谷 藤男	北海道森林管理局 上川北部森林管理署	004	R2
国有林職員	北海道	山端 孝	北海道森林管理局 宗谷森林管理署	006	R2
国有林職員	秋田県	正木 正人	東北森林管理局 由利森林管理署	007	R2
民間	青森県	白川 弘樹	(有)白川林産 森林整備部	008	R2
民間	青森県	古屋敷 弘幸	(株)坪造林	009	R2
民間	岩手県	内藤 清昌	葛巻町森林組合 森林整備課	010	R2
民間	岩手県	大澤 良和	三陸土建(株) 工務部 土木課	011	R2
民間	岩手県	中屋敷 勇輝	三陸土建(株) 工務部 土木課	012	R2
民間	宮城県	小野口 貴久	宮城中央森林組合 森林事業課	013	R2
民間	福島県	田部 博之	(有)田部林業	016	R2
民間	福島県	中川 貴之	東白川郡森林組合 業務課	014	R2
民間	福島県	藤田 歩夢	東白川郡森林組合 業務課	015	R2

関東ブロック

区分	都道府県	名前	所属	修了者番号	中央参加年度
都道府県職員	栃木県	平間 永子	環境森林部 森林整備課	029	R2
都道府県職員	埼玉県	山田 寛和	寄居林業事務所	030	R2
都道府県職員	千葉県	石垣 裕一	南部林業事務所 森林振興課	031	R2
都道府県職員	神奈川県	栗林 留美	環境農政局緑政部 森林再生課	032	R2
都道府県職員	長野県	増井 僚	林務部 信州の木活用課	033	R2
都道府県職員	静岡県	奥山 修	経済産業部 森林・林業局 森林整備課	034	R2
国有林職員	福島県	森 成貢	関東森林管理局 福島森林管理署 白河支署 業務グループ	035	H31
国有林職員	茨城県	福山 雄祐	関東森林管理局 茨城森林管理署 業務グループ	036	R2
国有林職員	静岡県	中村 信平	関東森林管理局 伊豆森林管理署 狩野森林事務所	037	R2
民間	栃木県	関口 啓	(株)栃毛木材工業	038	R2
民間	埼玉県	新井 和幸	新井森林サービス(株)	039	R2
民間	埼玉県	若林 知伸	西川広域森林組合 業務課	040	R2
民間	東京都	横尾 泰広	(株)パスコ 森林環境部 森林調査計画課	041	R2
民間	神奈川県	岩田 宏	津久井郡森林組合 造林課	043	R2
民間	神奈川県	笹原 美香	諸戸林業(株)	042	R2
民間	山梨県	長嶋 啓貴	(有)天女山 フォレストプランニング事業部	044	R2

中部ブロック

区分	都道府県	名前	所属	修了者番号	中央参加年度
都道府県職員	富山県	種五 瑞穂	新川農林振興センター 森林整備課	045	R2
都道府県職員	岐阜県	吉田 宗平	岐阜農林事務所 林業課	046	R2
都道府県職員	愛知県	箕浦 哲明	西三河農林水産事務所 林務課	047	R2
都道府県職員	奈良県	東田 真希	食と農の振興部 東部農林振興事務所 林業振興課	048	R2
国有林職員	長野県	佐藤 傑	中部森林管理局 森林整備部 技術普及課	049	R2

区分	都道府県	名前	所属	修了者 番号	中央 参加 年度
国有林職員	長野県	澤口 篤夫	中部森林管理局 中信森林管理署	050	R2

近畿中国ブロック

区分	都道府県	名前	所属	修了者 番号	中央 参加 年度
市町村職員	兵庫県	右近 健一朗	姫路市 産業局 農林水産部 農林整備課	072	R2
都道府県職員	奈良県	青地 泰嗣	食と農の振興部 南部農林振興事務所 林業振興第一課	066	R2
都道府県職員	和歌山県	大森 悠也	日高振興局 農林水産振興部 林務課	067	R2
都道府県職員	鳥取県	千代西尾 輔	農林水産部 林政企画課	068	R2
都道府県職員	島根県	藤原 裕之	農林水産部 森林整備課	069	R2
国有林職員	島根県	掛部 晋	近畿中国森林管理局 島根森林管理署業務グループ	070	R2
国有林職員	広島県	表川 章	近畿中国森林管理局 広島森林管理署 業務グループ	071	R2
民間	岡山県	福永 悠	(株)いざなぎ創林	073	R2

四国ブロック

区分	都道府県	名前	所属	修了者 番号	中央 参加 年度
都道府県職員	兵庫県	畝井 良幸	北播磨県民局 加東農林振興事務所 森林課	017	R2
都道府県職員	愛媛県	吉良 優那	東予地方局産業経済部森林林業課	019	R2
都道府県職員	愛媛県	西井 俊太郎	農林水産部 林業政策課	020	R2
都道府県職員	愛媛県	原口 正平	農林水産部 林業政策課	018	R2
国有林職員	香川県	崎川 龍也	四国森林管理局 香川森林管理事務所 業務グループ	021	R2
国有林職員	高知県	太田 勝稔	四国森林管理局 高知中部森林管理署 猪野々・岡の内森林事務所	024	R2
国有林職員	高知県	北川 憲太朗	四国森林管理局 嶺北森林管理署 業務グループ	022	R2
国有林職員	高知県	黒岩 玲子	四国森林管理局 高知中部管理署 治山グループ	023	R2
国有林職員	高知県	中岡 正樹	四国森林管理局 森林整備部 資源活用課	025	R2
国有林職員	高知県	宮崎 隆太	四国森林管理局 森林整備部 技術普及課	026	R2
民間	高知県	嶋崎 伸之	須崎地区森林組合 業務課	027	R2
民間	高知県	十倉 天	西垣林業(株) 四国事業所 営業部	028	R2

九州ブロック

区分	都道府県	名前	所属	修了者 番号	中央 参加 年度
都道府県職員	福岡県	酒谷 賢毅	福岡農林事務所 林業振興課	051	R2
都道府県職員	佐賀県	内山 和彦	杵藤農林事務所 林務課	052	R2
都道府県職員	長崎県	前田 真二	県北振興局 農林部 林業課	053	R2
都道府県職員	大分県	安部 暖美	南部振興局 農山漁村振興部	055	R2
都道府県職員	大分県	松本 純	中部振興局 農山漁村振興部	054	R2
都道府県職員	鹿児島県	池田 美穂	大隅地域振興局 農林水産部 林務水産課	057	R2
都道府県職員	鹿児島県	牛山 佳祐	南薩地域振興局 農林水産部 林務水産課	056	R2
都道府県職員	鹿児島県	神志那 紀子	始良・伊佐地域振興局 農林水産部 林務水産課	058	R2
都道府県職員	鹿児島県	富元 雅史	環境林務部 森林経営課	059	R2
国有林職員	宮崎県	高木 一将	九州森林管理局 宮崎森林管理署 都城支署 業務グループ	060	R2
国有林職員	鹿児島県	宮田 耕作	九州森林管理局 鹿児島森林管理署 徳之島森林事務所	061	R2
国有林職員	沖縄県	丸橋 宗寿	九州森林管理局 沖縄森林管理署	062	R2
民間	大分県	野田 敏昭	九州林産株式会社 林業部	063	R2
民間	宮崎県	上仮屋 博文	宮崎県森林組合連合会 事業部 共販課	064	R2
民間	宮崎県	桑畑 弘幸	宮崎中央森林組合 事業課 森林整備室	065	R2

林業成長産業化構想技術者育成研修

【中央研修】事前課題レポート

所属	
氏名	

中央研修に参加するにあたって、下記項目に記入の上、●月●日までに統括事務局担当に電子メールで送付ください。

1. 林業成長産業化構想(市町村森林整備計画等の計画の立案、サポート)の業務に携わったことがあるか、2段階の数字を入力してください(1:携わったことがない、2:携わったことがある)。

携わったことがない	携わったことがある	あなた自身の現状(1・2を入力)
1	2	

2. 一定の区域を単位とした実効性ある計画の作成に当たって、ICTの活用が始まっています。以下のICTについてあなた自身の現状について、4段階の数字を入力してください(1:聞いたことがない~4:よく利用している)。

聞いたことがない	知っている	使ったことがある	よく利用している
1	2	3	4

ICT技術の内容	森林GIS	森林クラウド	森林情報のオープンデータ	ドローンの画像・映像の活用	レーザー計測データ(航空機)	レーザー計測データ(ドローン)	レーザー計測データ(地上型)	路網設計支援ソフト	その他:使用したことがあるICT機器があればご記入ください
あなた自身の現状(1~4を入力)									

3. 以下のICTに関して、あなたの地域(都道府県または担当する管轄区域)のICTの取組状況について、2段階の数字を入力してください(1:取り組んでいない、2:取り組んでいる)。

取り組んでいない	取り組んでいる
1	2

ICT技術の内容	森林GIS	森林クラウド	森林情報のオープンデータ	ドローンの画像・映像の活用	レーザー計測データ(航空機)	レーザー計測データ(ドローン)	レーザー計測データ(地上型)	路網設計支援ソフト	その他:使用したことがあるICT機器があればご記入ください
あなたの地域の現状(1・2を入力)									

4. ブロック研修では、パワーポイントを使用して演習を行う予定です。班編成の参考にいたしますので、ご自身のパワーポイントの習熟度についてお聞かせください。

使用したことがない	使用したことがある	よく使用している	ご自身の現状(1~3を入力)
1	2	3	

5. ブロック研修(現地演習)では、ご自身のスマホもしくはタブレットを使用して演習を行う予定です。班編成の参考にいたしますので、ご持参が可能かお聞かせください。

持参できない	スマホを持参できる	タブレットを持参できる	ご自身の現状(1~3を入力)
1	2	3	

6. 本研修に期待すること(研修で学びたいこと、習得したいスキル、個人的な目標など)をご記入ください。

※枠内に収まる範囲でご記入いただき、1ページを超えないようにしてください。

令和 2 年度林業成長産業化構想技術者育成研修
【中央研修】

地域課題の整理～林業成長産業化に向けて～	
所属	氏名
1. 受講生が管轄する地域の森林の現状 ○○都・道・府・県●●市・町・村	
2. 地域の路網・産業の現状	
3. 地域の分析※SWOT分析	
【強み】	【弱み】
【機会】	【脅威】
4. 林業成長産業化に向けた方向性	

ふりかえりシートの様式(中央・ブロック)

令和2年度 林業成長産業化構想技術者育成研修

中央研修・ブロック研修共通 毎日のふりかえりシート

班: _____

所属組織名: _____

氏名: _____

受講生No.: _____

<p>講義や演習で学んだことのポイントや キーワード、印象に残った講師や 他の受講者の言葉</p>	
<p>研修後、職場(現場)でさっそく調べたいこと、 確認したいこと・取り組みたいこと</p>	
<p>自分の知見を高めるために、もっと詳しく 知りたい・学びたいこと。 難しかったこと・わからなかったこと</p>	

令和2年度 林業成長産業化構想技術者育成研修
ブロック研修 ●●ブロック 最終日のふりかえりシート

班: _____

所属組織名: _____ 氏名: _____ 受講生No.: _____

1. 4日間の研修を終えて、構想を考えるうえで、新たに獲得したこと、得た知識・情報、ポイント等

2. 中央研修並びにブロック研修を終えた中で、今後、林業成長産業化構想技術者として取り組んでいきたいこと

アンケート調査票(中央)

令和2年度 ICT等を活用した路網整備推進技術者育成事業

林業成長産業化構想技術者育成研修(中央研修) 評価アンケート調査票

今後の研修を効果的に実施するための参考資料としますので、率直なご意見・ご要望等をご記入下さい。

所属組織名:

氏名:

参加ブロック:

I 森林総合監理士関連の研修受講経験

該当欄の数字に○を付けて下さい。

(1) 森林総合監理士関連研修の受講経験の有無(技術者育成研修、准フォレスター研修等)

受講経験あり	受講経験なし
1	2

II 森林総合監理士資格の有無

該当欄の数字に○を付けて下さい。

(1) 森林総合監理士資格の有無

森林総合監理士	資格なし
1	2

III 本研修のねらい・内容をそれぞれの程度理解できましたか?

該当欄の数字に○を付け、理由等を【コメント】欄にご記入下さい。

(1) 林業ICT化の意義と手法【講義】

できなかった				できた	【コメント】
1	2	3	4	5	

(2) 新技術の機能、効果、仕組み【講義】

できなかった				できた	【コメント】
1	2	3	4	5	

(3) 森林の取扱いの方向性【講義】

できなかった				できた	【コメント】
1	2	3	4	5	

(4) 森づくりの理念【講義】

できなかった				できた	【コメント】
1	2	3	4	5	

(5) ICT林業の実際【講義】

できなかった				できた	【コメント】
1	2	3	4	5	

(6) ICT機器等による森林現況把握手法演習【演習】

できなかった				できた	【コメント】
1	2	3	4	5	

(7) 路網計画の考え方【講義】

できなかった				できた	【コメント】
1	2	3	4	5	

(8) 路網と作業システム【講義】

できなかった				できた	【コメント】
1	2	3	4	5	

(9)ICT等による路網設計の手法【講義】

できなかった					できた
1	2	3	4	5	

【コメント】

(10)ICT等による路網計画作成手法演習【演習】

できなかった					できた
1	2	3	4	5	

【コメント】

(11)林業成長産業化地域の取組【講義】

できなかった					できた
1	2	3	4	5	

【コメント】

(12)循環的な木材生産(安定供給に向けた取組)【講義】

できなかった					できた
1	2	3	4	5	

【コメント】

(13)地域課題の整理～林業成長産業化に向けて～【演習】

できなかった					できた
1	2	3	4	5	

【コメント】

IV 研修の進行・運営、研修設備等に関する評価

該当欄の数字に○を付け、理由等をコメント欄にご記入下さい。

(1)研修に係る事務局からの事前連絡等は十分できていましたか？

できていた	できていない
1	2

【コメント】 ※「2」できていないとしたのは何故ですか。理由をご記入下さい。

(2)動画を使用した研修について

良くなかった					良かった
1	2	3	4	5	

【コメント】

(3)研修形態(会場に集合する研修、動画研修)について、ご意見・ご要望等がございましたらお聞かせ下さい。

(4)その他、自由に感想をお書き下さい。(研修の中で特に印象に残った講義があれば教えて下さい。)

V 林業成長産業化構想技術者育成研修の評価

林業成長産業化構想技術者育成研修(中央研修)を100点満点で評価するとしたら何点ですか？ 減点した理由等もお書き下さい。(成果や達成感ではなく、研修の内容等全体を客観的に評価して下さい。)

【中央研修】

【減点した理由等】

/ 100 点

ご協力ありがとうございました。

アンケート調査票(ブロック)

令和2年度 ICT等を活用した路網整備推進技術者育成事業

林業成長産業化構想技術者育成研修(ブロック研修) 評価アンケート調査票(●●ブロック)

今後の研修を効果的に実施するための参考資料としますので、率直なご意見・ご要望等をご記入下さい。

ボールペン等で濃くご記入くださいますようお願いいたします。

所属組織名: _____ 氏名: _____ 受講生No: _____

I 森林総合監理士関連の研修受講経験

該当欄の数字に○を付けて下さい。

(1) 森林総合監理士関連研修の受講経験の有無(技術者育成研修、准フォレスター研修等)

受講経験あり	受講経験なし
1	2

II 森林総合監理士資格の有無

該当欄の数字に○を付けて下さい。

(1) 森林総合監理士資格の有無

森林総合監理士	資格なし
1	2

III 本研修のねらい・内容をそれぞれの程度理解できましたか?

該当欄の数字に○を付け、理由等を【コメント】欄にご記入下さい。

(1) 森林資源把握・路網配置計画演習【演習】(1日目午後)

できなかった				できた
1	2	3	4	5

【コメント】

(2) 地域特性に応じた森づくりの構想【講義】(1日目午後)

できなかった				できた
1	2	3	4	5

【コメント】

(3) 森づくり検討【現地実習】(2日目)

できなかった				できた
1	2	3	4	5

【コメント】

(4) 森林現況の把握・路網配置の調査【現地実習】(2日目)

できなかった				できた
1	2	3	4	5

【コメント】

(5) 林業成長産業化構想演習【演習】(3日目～4日目)

できなかった				できた
1	2	3	4	5

【コメント】

※裏面に続きます。

IV 研修の進行・運営、研修設備等に関する評価

該当欄の数字に○を付け、理由等をコメント欄にご記入下さい。

(1) 研修に係る事務局からの事前連絡等は十分できていましたか？

できていた	できていない
1	2

※「2」できていないとしたのは何故ですか。理由をご記入下さい。

【コメント】

(2) 研修の進行・運営の流れについて

良くなかった					良かった
1	2	3	4	5	

【コメント】

(3) 研修運営スタッフの態度・対応について

良くなかった					良かった
1	2	3	4	5	

【コメント】

(4) 今後、どのようなサポートや研修等があったら良いとお考えですか？

【コメント】

(5) その他、自由に感想をお書き下さい。(研修の中で特に印象に残った講義があれば教えて下さい。)

【コメント】

V 林業成長産業化構想技術者育成研修Ⅱ(ブロック研修)の評価

(1) 林業成長産業化構想技術者育成研修Ⅱ(ブロック研修)を100点満点で評価するとしたら何点ですか？減点した理由等もお書き下さい。

(成果や達成感ではなく、研修の内容等全体を客観的に評価して下さい。)

【ブロック研修】

【減点した理由等】

____ / 100 点

ご協力ありがとうございました。

タイムスケジュールの事例(ブロック研修)

日程	R2計画			R2実績										
	開始時間	所要時間	開始時間	所要時間	内容	進行	局(研修担当)	林野庁	講師	講師	講師	局	ブロック	
1 日目①	11:00	0:20	11:00	0:24	スタッフミーティング 研修生到着状況確認	●	局サポート(技セッション)	林野庁講師	森づくり外部講師	道づくり外部講師	局サポート	ブロック事務局		
						●	局サポート(局口)	林野庁				●	進行	
	12:30	0:05	12:31	0:01	【開講式】開講のお知らせ(発声)及び式進行 挨拶(四国森林管理局) 開講式終了	●	○	○						
			12:32	0:03									●	
			12:35											○
	12:35	0:35	12:35	0:36	【オリエンテーション】 ①簡単なスケジュール紹介 ②講師・スタッフの紹介 ③事務局から事務連絡(携帯マナー、喫煙場所、コロナ関係etc) ④アイスブレイク(一人2分×4人≒8分程度必要) ⑤研修の目的と全体のカリキュラムの説明 ※アンケート(両面)は適宜記入いただきたいことを説明 ※任意参加で17時半～演習補講があることをアナウンス	●	○	○					●	
						◆PC起動、撮影開始セッティング								●
	13:10	0:02	13:11	0:06	【演習手順の説明及び実習地の説明】 (演習手順の説明) ・4日間の流れ、ポイントの説明			●						
	13:12	0:03	13:17	0:01										●

日程	R2計画		R2実績		講師・スタッフ等(●=主担当、○=副)						
	開始時間	所要時間	開始時間	所要時間	進行	局(研修担当)	林野庁	講師	講師	局	ブロック
1日目②	13:15	0:25	13:18	0:24		事務局進行役	局サポート(技センロジ)	林野庁講師	森づくり外部講師	局サポート	ブロック事務局
							●				
											●
	13:40	0:10	13:42	0:13							
	13:50	2:00	13:55	1:57		●	○	●	●	○	○
	15:50	0:10	15:52	0:10							●
	16:00	0:50	16:02	1:02					●		
	16:50	0:10	17:04	0:05		○			●		
	17:00	0:15	17:09	0:10		●					○
	17:15		17:26			●					●
	17:15	0:15		0:17							●
	17:30	1:30	17:43	1:08		●					○
	19:00		18:51			●					○
17:20	0:15	17:40	0:35		補講対応中	●	●	●	●	●	進行 ※1名 補講 スタッフ

R2計画		R2実績		講師・スタッフ等(●=主担当、○=副)							
日程	開始時間	所要時間	開始時間	所要時間	進行	局(研修担当)	林野庁	講師	講師	局	ブロック
2日目①					事務局進行役	局サポ(技センロジ)	局サポ(局ロジ)	森づくり外部講師	道づくり外部講師	局サポ	ブロック事務局
											●
	8:00	0:05			●	○					○
	8:05	2:05	2:01	8:04		●					○
	10:10	0:15	0:15	10:05		●				●	○
	10:25	0:40	1:08	10:20		●				●	○
	11:05	0:45	0:40	11:28		○	○				○
	11:50	0:25	0:02	12:08		○	●			○	
	12:15	0:40	0:35	12:10		●	○				●
	12:55	0:15	0:11	12:45		○	●			○	○

日程	R2計画		R2実績		講師・スタッフ等(●=主担当、○=副)							
	開始時間	所要時間	開始時間	所要時間	進行	局(研修担当)	林野庁	講師	講師	局	ブロック	
2日目②	13:10	1:30	12:56	1:29	事務局進行役	局サポート(技センロジ)	林野庁	道づくり外部講師	森づくり外部講師	局サポート(局ロジ)	林野庁	事務局進行役
	14:40	2:05	14:25	2:00	○	●						●
	16:45	0:10	16:25	0:37	○	○	○	○	○	○	○	○
	16:55	0:20	17:02	0:23	●							○
	17:15		17:25		●							○
			17:40	18:45	●							
	17:15	0:15	17:35	0:50	●	●	●	●	●	●	●	●
	17:30		18:25									

日程	R2計画		R2実績		講師・スタッフ等(●=主担当、○=副)						
	開始時間	所要時間	開始時間	所要時間	進行	局(研修担当)	林野庁	講師	講師	局	ブロック
3日目	8:30	0:05	8:30	0:05	●						○
	日程説明等					事務局 進行 役	局サ ポート (技セン ロジ)	林野 庁講 師	森づく り外部 講師	局サ ポート 局	ブロッ ク事務 局
	8:35	3:25	8:35	3:25	●						○
	【演習】林業成長産業化構想演習 ▼おおよそのスケジュール ●8:35～10:15 FRD操作・路線の作図 ●10:30～12:00 QGIS操作						局サ ポート (局ロ ジ)	林野 庁講 師	森づく り外部 講師	局サ ポート 局	ブロッ ク事務 局
	12:00	1:00	12:00	1:00							●
	昼食(弁当)										
	13:00	4:15	13:00	6:07	●						○
	【演習】林業成長産業化構想演習 ▼おおよそのスケジュール ●13:00～14:00 事業計画書作成(EXCEL)※並行して構想作成 ●14:00～17:15 構想作成(PPT)						局サ ポート (局ロ ジ)	林野 庁講 師	森づく り外部 講師	局サ ポート 局	ブロッ ク事務 局
	17:15		19:07		●						○
	3日目終了										
17:15	0:15	17:10	0:22	●						●	
スタッフミーティング										●	
17:30		17:32									
終了											

R2計画		R2実績		講師・スタッフ等(●=主担当、○=副)								
日程	開始時間	所要時間	開始時間	所要時間	内容	進行	局(研修担当)	林野庁	講師	講師	局	ブロック
	8:30	0:10	8:30	0:07	日程説明等	●						
	8:40	0:10	-	-	各班発表準備、座席レイアウト変更(3班を前方へ)	●						○
	8:50	1:40	8:37	1:43	【演習】森林資源利用構想演習(発表、ディスカッション) 一班28分 ・発表13分 ・発表班以外の1つの班は班内討議(3分) ・質疑応答約12分 +班入替時間 ※2班終了後、短めの休憩入れる ※局サポート講師からも質問していただく	●	局サポート(技センロジ)	林野庁講師	森づくり外部講師	局サポート	局サポート	ブロック事務局
	10:30	0:10	10:20	0:10	休息							
	10:40	0:15	10:30	0:12	全班で構想に対する気づき・感想発表	●						○
	10:55	0:40	10:42	0:43	講評	○					●	○
	11:35	0:20	11:25	0:25	ふりかえり(シート記入と共有) シート記入:15分、班内共有:5分	●					○	○
	11:55	0:05	11:50	0:05	閉講式 挨拶(林野庁)	●						○
	12:00		11:55		全日程終了	●						○
	12:05	0:30	11:57	0:25	スタッフミーティング	●					●	● 進行
			12:22		撤収							●

研修における新型コロナウイルス感染症の感染防止対策について
(研修生への要請事項)

林業成長産業化構想技術者育成研修及び技術力維持・向上対策研修の研修実施に当たって、下記のとおり新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナ」という。）の感染防止対策を実施しますので、下記の要請事項等の遵守をお願いします。

記

1 研修受講前に関する事項

(1) 研修受講前の体調管理について

万全の体調で研修に臨むため、日頃から体調管理に努めてください。また、受講前の2週間は毎日（できれば朝夕2回）検温の上、各自の体調等について、別紙「体温・体調等記録用紙（表）」に記録し、受講の可否の判断材料としてください。

なお、当該記録用紙は、研修14日前から研修開始日を（表）面に、研修開始日から研修終了日までを（裏）面に記載する様式になっていますので、両面印刷の上、研修開始日までの状況を（表）面に記載し、研修に持参してください。

(2) 研修受講の可否の判断について

ア 受講の取りやめ

以下のいずれかに該当する方は、受講を見合わせてください。

- ① 研修前2週間以内に発熱等の症状が見られた者（※新型コロナが疑われる場合以外であっても、体調不良者は参加を見合わせてください）
- ② 国・地域を問わず、海外からの帰国後2週間以内の者
- ③ その他、同居親族等の家庭内又は職場の同僚などの感染が確認される等、感染のおそれがある者

イ 受講を要検討

以下のいずれかに該当する方は、受講の可否を慎重に検討願います。

- ① 基礎疾患（糖尿病、心不全、呼吸器疾患ほか）がある者、透析を受けている者、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている者など、重症化しやすいとされている者
- ② 研修前2週間以内に大規模イベント等（ライブハウス、コンサート等）に参加した者

ウ その他

感染が拡大している地域等からの研修生は、当該都道府県等の方針（県外への移動自粛要請等）に基づき、研修受講について判断願います。

(3) 来場までの間の感染防止等について

ア 研修会場への来場の際、公共交通機関の利用にあたっては、感染防止にご留意ください。なお、利用した移動ルート（自宅最寄駅等⇄研修会場最寄駅等）の便名・座席番号等を控えておいてください。

イ 来場時に検温を実施し、体調の聞き取りを行います。その際、発熱症状等が

ある場合は、研修参加を取りやめ、そのまま帰宅等していただきます。

(4) 厚生労働省配布の接触確認アプリの活用（スマートフォン所有者のみ）

各自のスマートフォンに、厚生労働省が配布する新型コロナの陽性者と接触した可能性について通知を受け取ることのできるアプリをインストールし、研修受講の可否の判断材料としてください（※詳しくは厚生労働省HPを参照）。

2 研修中に関する事項

(1) 持参品について

各研修生は、マスク、体温計を必ず持参願います（マスクは研修期間中に必要な枚数）。

(2) 研修中の感染防止対策について

ア 毎朝、研修スタッフが体調不良者の有無を確認しますので、研修生は各自で毎朝夕検温し、別紙「体温・体調等記録用紙（裏）」に体調その他参考事項等（メモ欄）を記録いただきます（記録用紙は研修最終日に提出）。

イ 研修初日に実施していた意見交換会は、開催を見合わせます。

ウ 研修時間外においても不要な外出は避け、常識的判断に基づく、節度ある行動をとるよう心掛けてください。

(3) 講義・実習中の感染防止対策について

ア 研修中は、可能な限り、人を密集させない環境の整備に努め、屋内での講義では換気を励行します。

イ 研修会場内及び演習地までの移動車中では、マスクを着用していただきます。また、演習中も状況に応じてマスク等の着用をお願いします。

(4) 体調不良者の取扱いについて

ア 新型コロナの疑い如何に関わらず、体調不良者は即時研修を中止し、帰宅等していただきます。

イ 感染のおそれがない体調不良者の場合、必要に応じて病院で診察後、医師の診断結果に基づき帰宅・入院等いただきます。

ウ 感染が疑われる場合（濃厚接触者であることが判明した場合等を含む）、保健所等の指示に基づき対処します。また、帰宅方法等は、保健所や研修生の所属機関とも協議の上、決定します。

3 研修受講後に関する事項

研修終了（帰任）後2週間以内に体調不良となる等、当該研修受講時には既に新型コロナに感染していたおそれがある場合は、至急、研修事務局に連絡願います。

4 その他

感染拡大状況等によっては、研修開始前に、急遽、研修を中止する場合があります。また、研修生に新型コロナが疑われた場合等は、研修実施中であっても、保健所等の指示に従い、即時研修を中止し、全研修生を帰宅等させる場合があります。

体温・体調等記録用紙（表）

（研修受講14日前からの状況）

*新型コロナウイルスの最大潜伏期間はおおむね14日間といわれています。

*本記録用紙には、研修14日前から研修開始日までの発熱等の症状と健康状態をセルフチェックしていただくものです。

*この期間に体調不良を感じた場合には、無理せず、職場と相談の上、他の研修生のためにも受講について再検討してください。

*個人情報の取り扱いには十分注意し、感染対策以外では使用しません。

所 属		研 修 名	林業成長産業化構想技術者育成研修
ふりがな		研修区分	北海道東北ブロック（岩手県盛岡市）
氏 名		研修期間	令和2年9月29日（火）～10月2日（金）

日付	体温測定時間	体温(°C)	【新型コロナ感染症を疑う症状】 発熱、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐、味覚や嗅覚の異常など		【参考1】 医療機関の受診・解熱鎮痛薬の内服など	【参考2】 「三密」状態になるなど感染リスクが高いと思われる外出先(場所)・相手方など
			<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 ()		
9月15日	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 ()		
	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 ()		
9月16日	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 ()		
	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 ()		
9月17日	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 ()		
	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 ()		
9月18日	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 ()		
	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 ()		
9月19日	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 ()		
	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 ()		
9月20日	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 ()		
	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 ()		
9月21日	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 ()		
	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 ()		
9月22日	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 ()		
	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 ()		
9月23日	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 ()		
	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 ()		
9月24日	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 ()		
	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 ()		
9月25日	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 ()		
	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 ()		
9月26日	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 ()		
	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 ()		
9月27日	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 ()		
	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 ()		
9月28日	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 ()		
	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 ()		
9月29日 (当日)	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 ()		
	:		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 ()		

【注】「三密」状態:①換気の悪い密閉空間、②大勢がいる密集場所、③間近で会話する密接場面が重なる状態

体温・体調等記録用紙（裏） （研修期間の状況）

*本記録用紙には、研修開始日から研修終了までの発熱等の症状と健康状態をセルフチェックしていただくものです。
 *研修期間に体調不良を感じた場合には、速やかに研修スタッフに申し出てください。
 *本記録用紙は、最終日に提出してください(本記録用紙は研修終了後2週間保存後、廃棄します)。
 *個人情報の取り扱いには十分注意し、感染対策以外では使用しません。

所 属		研 修 名	林業成長産業化構想技術者育成研修
ふりがな		研修区分	北海道東北ブロック（岩手県盛岡市）
氏 名		研修期間	令和2年9月29日（火）～10月2日（金）

日付	体温測定時間	体温(°C)	【新型コロナ感染症を疑う症状】 発熱、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐、味覚や嗅覚の異常 など		【参考1】 医療機関の受診・解熱鎮痛薬の内服など	【参考2】 ・宿泊施設名称 ・研修中に利用した食堂等の名称など
			<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有（ ）		
9月29日	：		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有（ ）		
	：		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有（ ）		
9月30日	：		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有（ ）		
	：		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有（ ）		
10月1日	：		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有（ ）		
	：		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有（ ）		
10月2日	：		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有（ ）		
	：		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有（ ）		

【メモ1】
班のメンバーの氏名

①	②	③
④	⑤	⑥

【メモ2】
班のメンバー以外で研修中(時間外を含む)に間近で会話する場面があった方(スタッフを含む)の氏名

①	②	③
④	⑤	⑥
⑦	⑧	⑨

【注】濃厚接触: 1mの距離(目安)で、マスク等を着用せずに15分以上の接触があった者(喫煙所・会食など)

林業成長産業化構想技術者育成研修【ブロック研修】

安全管理計画書

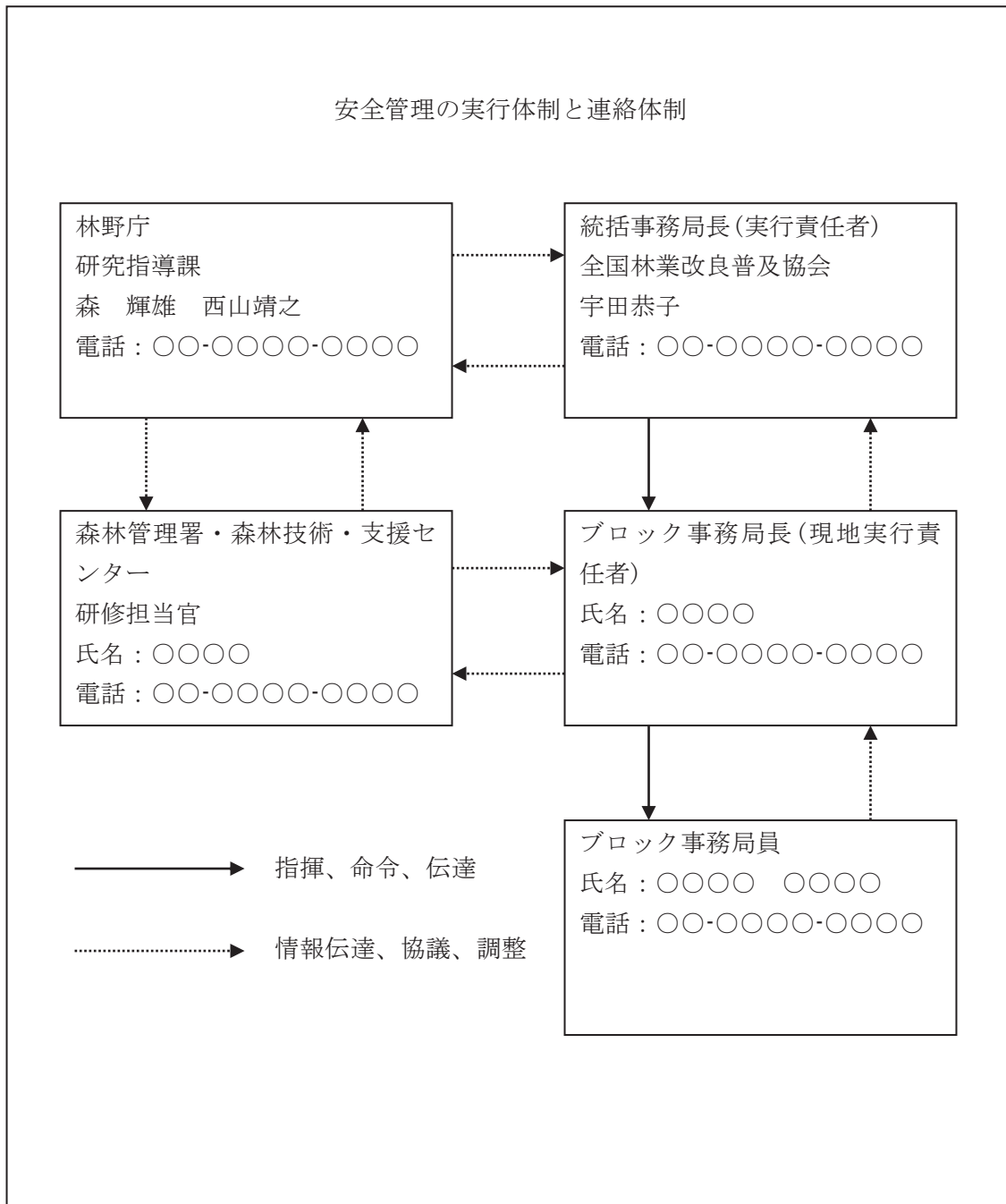
安全管理マニュアル

I C T等を活用した路網整備推進技術者育成事業

〇〇ブロック事務局

1 安全管理の実行体制と連絡体制

通常時の安全管理体制における責任者は研修統括事務局長、現地においてはブロック事務局長とし、指揮・確認・情報伝達の体制は下記のとおりとする。



2 安全管理の事前確認

(1) 受講者情報の事前確認

下記①、②、③については、統括事務局が事前に照会並びに案内を行うので、①、②については一覧(名簿)にて、③については研修開始時に確認する。

① 受講者及び研修派遣元の情報

【受講者】 氏名、電話番号、救急時連絡先電話番号、年齢、血液型、蜂アレルギーの有無及び蜂アレルギーの程度、研修参加にあたり健康上での留意事項等

【派遣元】 名称、電話番号、緊急時連絡先(担当者氏名、電話番号)

② 受講者の派遣元における保険の加入情報

③ 服装、保安帽の準備

受講者へあらかじめ、袖、裾締まりのよい服装での参加、及び山歩きに適した靴(長靴等)、保安帽等安全具の用意を伝えること。蜂の活動期については、現地実習等で着用する衣服は、黒っぽいものを避けること。

(2) 研修場所、研修機械器具、救急薬品等の整備

① 研修は安全に実施できる場所を選定すること。

② 研修場所及び周辺を研修内容に即して事前に確認し、危険箇所(急傾斜、浮き石、蜂の巣等)を把握し、危険箇所にはテープ等で表示すると共に、現地実習実施前に必ず注意を促し、近づかないよう回避する。

③ 事故時に受講者が退避できる安全場所を確認しておくこと。

④ 救急車との合流場所を確認しておくこと。(救急車は林道等の悪路走行が困難なことがあるので、合流地点は人家近くが望ましい。)

⑤ 現地実習の現場も含め携帯電話の使用の可否を確認し、研修中の連絡体制が確保されていることを確認すること。

なお、(特に現地実習現場において)受信範囲が極端に狭い、圏外のエリアがほとんど、というような場合は、統括事務局へ相談する。

⑥ 研修会場まで車で移動する場合は、事前に安全な経路を確認すること。

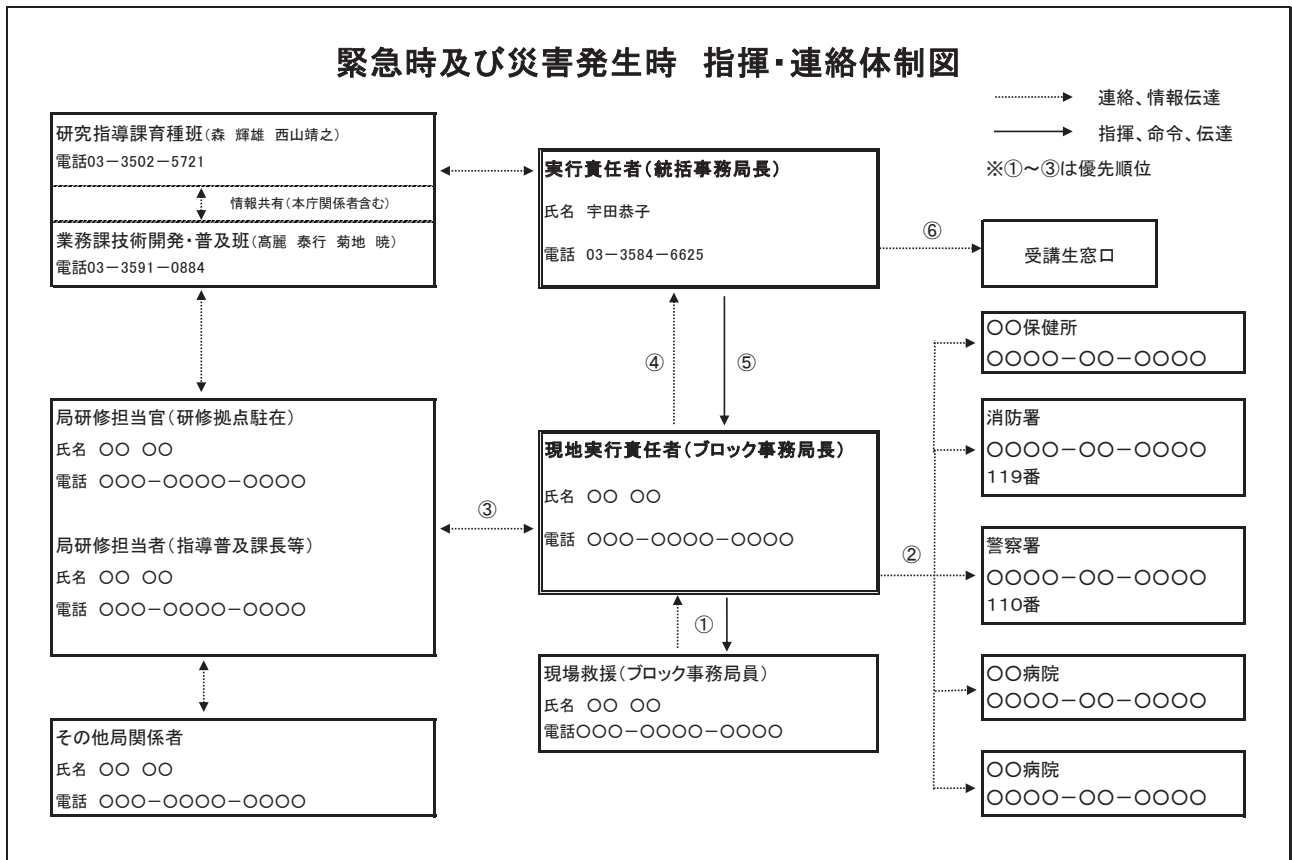
⑦ けが人、急病人等の搬送手段、搬送医療機関を確認しておくこと。

⑧ 研修で使用する器具等の点検を行い、整備不良等に伴う危険因子の排除に努めること。

⑨ 携帯用救急薬品等の点検を行い、不足・不良や期限切れの無いようにすること。

(3) 緊急時及び災害発生時 指揮・連絡体制の整備

緊急時の指揮・連絡体制は、下図のとおりとする。

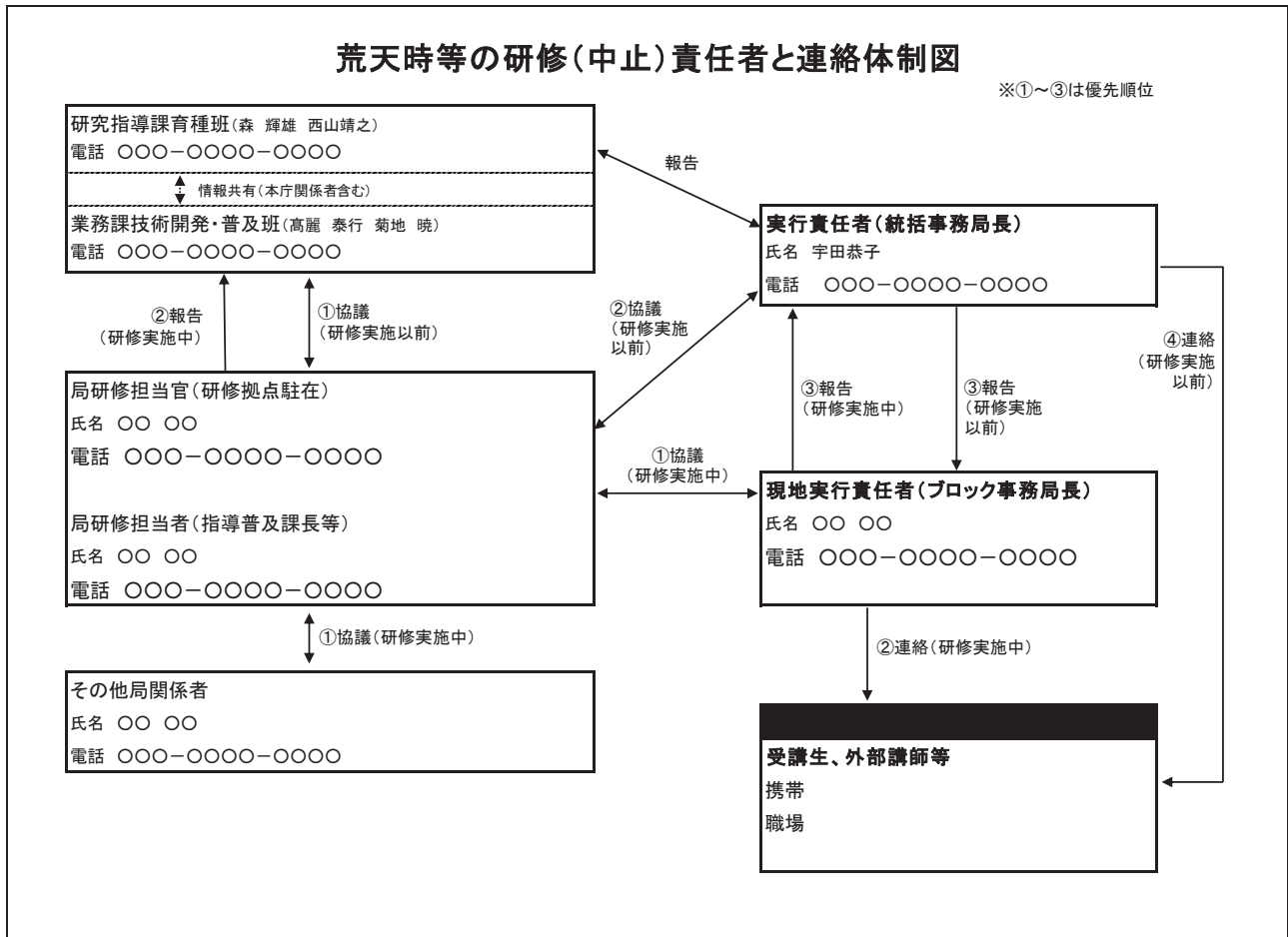


(4) 荒天時の対応(研修開催前)

荒天時の研修の実施について、気象情報等の収集整理を行う者、研修の変更、中止の決定方法、決定の日時、研修参加者への周知方法については下記のとおりとする。

荒天時の研修実行(中止)決定責任者は実行責任者(ブロック事務局長)とするが、局研修担当官と協議のうえ決定する。

- ①気象情報の収集整理担当者(ブロック事務局員〇〇〇〇)
- ②決定の日時(研修開催前：令和2年〇月〇日〇時、研修中：令和2年〇月〇日〇時〇分)
- ③受講者・講師・その他研修参加者への周知方法



3 研修実行時の安全管理

(1) 研修の実行

1) スタッフミーティング

研修開始前には、研修スタッフの他、講師、局研修担当官等を交えて、研修の内容、各スタッフの役割、研修の手順、実習内容、人員配置、受講者の出欠状況等の確認を行う。また、研修内容、天候、危険要因等の認識の一致を図る。

さらに、現地実習日の前日に開催される反省会において安全管理について再確認を行う。

2) 研修参加者の安全確保

①研修会場へ車を使用して移動する場合は、交通事故に注意するよう注意喚起を促すこと。現地実習会場へ移動する場合は、当日の工事車両等の有無を確認する。

②研修参加者に対し、安全に関する基本的事項を説明し、身体保護のための被服、防護具は正しく装着するよう指導・確認する。

・保護帽は正しく装着し、あご紐は正しく締めること。

・作業服は袖、裾締まりの良いものを着用すること。

③研修参加者に対し、ヒヤリ・ハット事例があった場合の報告を徹底させること。

④現地実習などでは、次の安全活動を徹底する。

○KYT(危険予知訓練)

危険個所に対する感受性を高めるとともに、問題解決能力の向上を図る。

○リスクアセスメント

現場における災害原因を分析し、事前排除に努める。

○指差呼称による確認

作業行動の要所で対象物を確認し、発声により意識を覚醒させ、うっかり災害を防止する。

○相互注意運動

お互いに不安全行動を指摘し合い、その改善を図る。

○4S運動

整理・整頓・清潔・清掃を行う。研修後の後始末を確実に行う。

○生産・工事現場の確認

機械が動いている生産・工事現場などをあらかじめ確認しておき、近づいたりしないこと。

○研修中の怪我に際しての対応

研修中の怪我により医療機関での処置が発生した場合、その怪我の状況、病院・診療所名、その後の経過を所属機関担当者に報告し対応を引き継ぐ。

3) 救急薬品等の携帯

現地実習の場合は、携帯用救急薬品等を必ず携帯すること。

4) 荒天時の対応(研修中)

研修中の天候急変等異常時には、次によることとする。

①中断、中止の判断は、局研修担当官等と調整のうえ、現地実行責任者が決定し、結果を統括事務局に報告する。

②一時的に避難する箇所を確保するとともに、下山については、集中豪雨、強風等による道路

事情を十分検討し、現地実行責任者等の慎重な判断指揮のもとに、余裕をもった行動をとること。

③退避場所(休憩所を含む)は異常出水、転落石、崩土等の危険を十分点検して選定すること。

④林道等道路上の待機、退避、または駐停車については、谷筋、岩石地、路肩法面の高い所、橋梁上等危険な箇所を避けること。

(2)研修終了後の確認

1)スタッフミーティング

研修終了後は、必要に応じ、局研修担当官等の参加を得て、研修に係る安全管理についての内容等について、事前打ち合わせどおり実施できたか確認を行うとともに、研修全体を振り返り、今後に向け安全で効果的な研修方法についての改善策をまとめる。

さらに、研修中に発生した「ヒヤリ・ハット」事例を報告し合い、発生原因、再発防止対策をまとめる。

【ヒヤリ・ハット事例報告項目】

①日時	
②場所	
③内容	
④状況	
⑤発生原因	
⑥再発防止策	

2)ヒヤリ・ハット事例報告

ヒヤリ・ハット事例と再発防止策を局研修担当官と統括事務局に報告する。

■付表1 チェックリスト

1. 事前確認

- 連絡体制図を(通常時、緊急時)を作成しているか
- 参加者は労災保険又は傷害保険に加入しているか
- 受講者にあらかじめ、袖、裾締まりのよい服装での参加、保安帽等安全具の用意を伝えたか
- 参加者に蜂アレルギー者がいないかを確認したか
- 現地実習箇所について、事前に蜂等の危険因子を回避したか
- 現地の事前確認を行ったか
 - 安全面で研修開催可能な場所か
 - 安全に研修できる地山勾配か
 - 浮き石が無いか
 - 蜂の巣(有・無)有の対策：研修箇所から外し、周知を徹底する
 - 危険箇所がないか(崖、水量の多い谷等)
 - 怪我人の搬送方法を確認したか
 - 安全に研修出来るスペースは確保できるか
 - 携帯電話の使用の可否を確認し連絡体制確保を確認出来たか
- 最寄りの病院の位置図、経路を確認したか
- 研修で使用する器具等の点検を行ったか
- 現地の天候(予報)を確認したか
- 携帯電話が繋がらない箇所の場合の対応策はとられているか

2. 持ち物

- マニュアル(緊急連絡網)
- 救急箱
 - バンドエイド
 - 薬(消毒薬、湿布等)
 - 包帯
 - 三角巾(グループ分けした場合は各班毎)
 - タオル
 - ポイズンリムーバー
 - 蜂スプレー(季節による)
 - ガーゼ
 - 抗ヒスタミン軟膏(蜂刺され用)(使用期限を確認すること)
- 水(グループ分けした場合は各班毎)

3. 研修中

- 受講者が危険な行為をしていないか
- 怪我または気分の悪くなった受講者はいないか
- 上下作業になっていないか
- 受講者が作業危険区域内に立ち入っていないか(伐採区域等)

付表2 災害発生現場からの連絡事項(チーフ(現地責任者)連絡用)

災害発生現場からの連絡事項

- 1 連絡者の氏名 私は〇〇です。
- 2 災害の概要
 - (いつ) 〇〇時△△分に
 - (どこで) 〇〇研修の現場で 〇〇市〇〇町〇〇 付近には〇〇があります
 - (だれが) 〇〇(氏名)が
 - (何を) 〇〇作業中に
 - (どうして) 〇〇したところ
 - (何により)
 - (どうなった) 〇〇(部位)を〇〇した。
- 3 傷病者の容態
 - (意識) ある・ない
 - (呼吸) している・弱い・ない
 - (出血) ある(多い・少ない/部位:)・ない
 - (骨折) 骨折はある(部位:)・ない・不明
 - (手当等) 止血、薬を服用・塗る 等
 - (その他)
- 4 救急車の要否
 - ・救急車は必要・不要
 - ・救急車との合流は〇〇地点(合流点までの距離、歩道の距離)
 - ・輸血は必要・不要
 - ・血液型はR h (プラス・マイナス)(A・B・O・AB)型
 - ・搬送等の手段 〇〇で下山、合流地点まで〇〇分くらい
- 5 搬送先の医療機関

※連絡は、救急隊への引き継ぎ後、または、医療機関への搬送後に速やかに行うこと。

事故発生確認事項

連絡者の氏名確認		
災害の概要	いつ	月 日 時 分
	どこで	研修の現場・ (市・郡) (町・村) で
	だれが	(年齢)
	どんな	作業中 でケガをしました。
発生原因		
傷病者の様態		ケガの状況は (意識) ある ・ ない (呼吸) ある ・ ない (出血) ある ・ ない (骨折) ある ・ ない ・ 不明
救急車の要否		必要 ・ 不要
(※)必要に応じて		・救急車の合流地点 ・傷病者の住所 ・傷病者の電話番号 ・輸血 必要・不要 ・血液型 A・B・O・AB型 (Rh プラス・マイナス) ・搬送医療機関
現場概況		天候 : 晴れ、曇り、雨、雪 樹種 : スギ、ヒノキ、その他針()、広葉樹 樹高 : m 太さ : cm 地山 : 勾配、土質(砂質、粘性、礫混じり、岩、その他()) その他 :

緊急時の現場行動マニュアル



通報 研修中断指示・現場安全確保
(発見者) (チーフ、サブ)
①発見者はチーフ(〇〇〇〇)、サブ(〇〇〇〇)に通報、直ちに研修を中断
②チーフ、サブは現場確認・安全確保(落石、蜂等)
③受講生は予め決めた安全場所で待機
④チーフは救急車要請、サブは森林管理局・統括事務局へ第1報

現場携帯
(研修関係者用)

チーフ: ブロック事務局長
(担当者 氏名、電話番号)

サブ: ブロック事務局長員
(担当者 氏名、電話番号)

情報の流れ →

救急車要請
(チーフ)

必要なし

必要

- ・頭をぶつけた
- ・マムシに噛まれた
- ・ハチに刺された
- ・出血が激しくとまらない
- ・骨が折れているようだ
- ・呼吸・脈拍が感じられない

第1報
サブ

助務者確保
(チーフ)
研修生に助務を依頼

消防通報・研修中止・助務者確保(チーフ)
①消防(119番)へ通報、サブへ救護指示
②研修を中止し、受講生に助務を依頼
③チーフは森林管理局・統括事務局へ第2報、サブは被災者救護等

第2報
チーフ

被災者救護・応急対応(サブ)
①助務者と協力して被災者を安全場所へ誘導
②助務者と協力して被災者の応急対応(統括事務局用意の緊急対応マニュアル等を参考にできる範囲で手当て)
③チーフは被災者の負傷程度を森林管理局・統括事務局へ報告(第3報)

第3報
チーフ

現場安全確認後
研修再開・中止
(チーフ)

被災者搬出(サブ)
①サブは被災者を人家近くの救急車合流地点まで搬送
②助務者は救急車誘導指示

チーフ

救急車で搬送(サブ)
①サブが救急車に同乗、助務者は救急車に随同
②救急車が到着したらチーフは森林管理局・統括事務局へ報告(第4報)、サブは救急車で搬送(搬送後の状況についてはチーフに報告)

第4報
チーフ

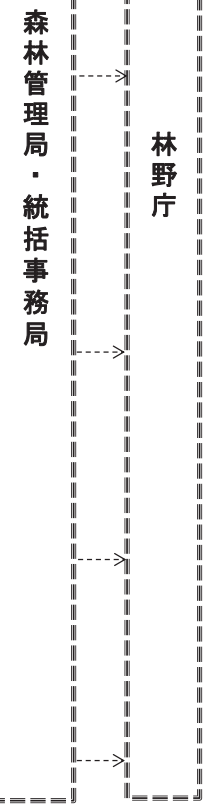
公用車等で搬送
(サブまたは
研修関係者)

搬送後の現場対応(チーフ)
チーフは現場に残り、
①救急車が出発したら報告(第5報)
②研修生に研修会場の後片付け、帰宅指示
③警察の現場検証に協力・立会
または、現場記録(写真・見取り図)作成

第5報
チーフ

医療施設での対応(サブ)
①サブは医療施設に到着後チーフへ報告、所属関係機関にチーフは報告(第6報)
②サブは処置後チーフへ状況報告

第6報
チーフ



本事業で使用している研修関係用語の説明

本研修では、より研修効果を上げるため様々な工夫をしながら実施している。それらの取り組みに関係する用語を中心として説明する。

○アイスブレイク

「アイスブレイク」とは、参加者の心や、初対面の参加者同士、スタッフ間との間に張った緊張の氷(アイス)を壊す(ブレイキング)時間である。研修の初日のオリエンテーション等で取り入れている。一般的には自己紹介の時間などを兼ねて簡単なゲームを行う。班内の受講生同士の自己紹介や課題等を決められた時間で話したり、誕生日でグループになり文等を交えた自己紹介などその場の雰囲気に合わせて多様なアイスブレイクを行っている。

○アイランド形式

演習(グループワーク)が多いことから、班(4～5人)ごとに机を配置する「アイランド形式」を取り入れている。アイランド形式は、講師やホワイトボード(スクリーン)が見えにくい場所もあるが、班の受講生同士のコミュニケーションを促し、気軽に意見交換し、意識を共有しやすい環境づくりに役立つ。

その他の配置としては、教室型、シアター型、半円型、円型がある。

○OKP法

演習においてプレゼンテーションなどを行う際に使用している。

ポイントが書かれたA4版の紙(紙芝居)を黒板やホワイトボードに貼り付けながら話を進める手法をKP(紙芝居プレゼンテーション)法といい、発表者がポイントを分かりやすく整理、見える化し、伝える手法である。

○スタッフミーティング

研修を円滑に実施していくため、カリキュラムの進行や参加者についての情報をすべてのスタッフで共有するため、研修実施前、研修期間中、研修終了後に全スタッフ、外部講師も参加してミーティングを行っている。

特に研修終了後のミーティングでは、最後に書いたふりかえり用紙やアンケートを全参加者が読み、そこから気がついたことや自分が思ったことを発表していく(このミーティングでは、建設的な意見が出やすい雰囲気づくりを心掛けることが大事である)。

なお、この場でも出された改善点やアイデアなどは、事務局が作成する実施報告書等で共有するようになっている。

○フィードバックシート

演習等で各班の発表を聞いて気づいたことを発表した班に助言や感想をメモにしてフィードバックしている。この時に使用する用紙のことを「フィードバックシート」という。

○ふりかえり

学んだことを自分のこととして考えてもらうため、カリキュラムの中に「ふりかえり」の時間を設けている。

自身でふりかえりの時間で考えたことや新たな気づき、帰ってからすぐに活用できそうな点、自分なりにもう一度整理、確認しなければならない点等を具体的に書き、言葉化することである。また、グループで読み合い、共有する。そして、なによりも重要なことは、研修の成果として、言葉にしたことを受講生に持ち帰ってもらうことを目的としている。

なお、ふりかえりの際に使用する用紙を「ふりかえりシート」という。

○ペチャクチャタイム

講義の合間や演習での発表後に、講義や発表を受けての感想や疑問点、助言等を班ごとに話し合う時間を適宜設けている。この時間を「ペチャクチャタイム」と呼んでいる。この時間を設けることにより、他の受講生の考えを聞くことで、自分の立ち位置や別の視点からの気づきを促し、より理解を深め、質問や意見を出しやすい雰囲気を作ることができる。

○ワークショップ

「ワークショップ」は一方通行的な知識や技術の伝達でなく、参加者が自ら参加・体験し、グループの相互作用の中で何かを学び合ったり創り出したりする、双方向的な学びと創造のスタイルとして定義されている。ワークショップの実施に当たっては、ファシリテーターと呼ばれる司会進行役の人が、参加者が自発的に作業する環境を整える重要な役割を担っている。このことにより、参加者全員が体験・運営することによりグループの合意形成が図られる。

令和2年度ICT等を活用した路網整備推進技術者育成事業
報告書

発行日：令和3年2月26日

発行：令和2年度ICT等を活用した路網整備推進技術者育成事業統括事務局
一般社団法人 全国林業改良普及協会

〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-13 三会堂ビル2階

TEL 03-3584-6625